

陸前高田市への支援活動報告



勝山市民からの寄附金で購入された鯉のぼりを福祉避難所で掲揚

陸前高田市へ独自支援

勝山市は、震災直後に岩手県陸前高田市に派遣された緊急消防援助隊と同時に救援物資を3回にわたり被災地に届けました。さらに陸前高田市からの要請を受け、4月5日から30日までの26日間に渡り、福祉避難所の開設や運営をサポートするため、市職員と市内外の介護施設職員や介護ボランティアなど112人を派遣し、24時間体制で介護支援を行ってききました。



戸羽陸前高田市長と会談する山岸市長

なお、5月1日以降の福祉避難所の運営については、「医療法人財団 青山会（神奈川県三浦市）」が主体となっており、引き続き介護支援を継続しています。運営には「いたばし災害支援ネットワーク（東京都板橋区）」などのさまざまな民間団体もサポートしています。

勝山市では、今後も陸前高田市の復興に向けたさまざまな支援を検討していきます。

陸前高田市長感謝の言葉

勝山市の皆様へ

このたびの東日本大震災では、陸前高田市においても甚大な被害を受けましたが、全国から多くのご支援が寄せられており、少しずつではありますが、復興に向けた取組みを進めているところでございます。

特に勝山市様からは、大震災直後に消防の緊急援助隊の派遣やいち早く救援物資が届けられ、また、避難所や在宅において介護を要する方々を一時的にお預かりする福祉避難所「炭の家」を開設する際の運営立ち上げなど、全面的なご支援を賜っております。

同所の運営にあたりましては、勝山市の職員をはじめ介護施設からも多くの方々が800キロメートルもの遠い道をおいでになり、献身的に従事される姿には、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでありました。

お蔭様にて、福祉避難所の利用者及びその家族からは好評で、初期の目的以上の成果があげられているところであり、さらには運営の円滑な引継ぎまでお世話をしていただきました。

これまでの物心両面にわたる幅広いご支援を決して忘れることなく、復興に向け市民一丸となって取り組んでまいりますことをお誓いし、深く感謝の気持ちをお伝えしたいと存じます。

これをご縁に、両市がおつき合いを進め、末永く結びつきを深めていくことを願っております。

大変ありがとうございました。

平成23年5月1日

陸前高田市長 戸羽 太



青山会の内藤理事長(写真左)と、いたばし災害支援ネットワークの河合さん(5月1日福祉避難所前)



市立図書館横に掲げる応援メッセージ懸垂幕

災害に強い

まちづくりを指して

自主防災組織の設立を支援します

東日本大震災の例を見ても、地震などの大規模災害時には、建物の倒壊や火災、道路の損壊などが同時多発的に発生します。そして、災害が大規模になればなるほど、行政による救援には時間がかかります。

そこで市では、被害者を少しでも減らすために、自主防災組織の設立に対する支援を積極的に行います。今回、自主防災組織補助金要綱の改正を行いましたので、各地区での組織設立について、よろしくお願ひします。



自主防災

- ◆自主防災組織とは
自治会などを単位として組織し、さまざまな地域活動を基盤として、地域の安心・安全な生活を確保するための防災活動などを行う組織です。
- ◆自主防災組織の役割
平常時は、啓発活動や地域の連絡体制づくりに努め、非常時には救出・救助・避難誘導などを行います。

- ◆補助金の種類・金額
設立事業補助金
組織設立時に一律3万円を補助
- 活動事業補助金
自治会の規模別に、1年ごとの活動を補助

- ・1～50世帯 (1万円)
 - ・51～100世帯 (2万円)
 - ・101～200世帯 (3万円)
 - ・201世帯以上 (5万円)
- 備品購入事業補助金
防災備品の購入など、補助対象経費の3分の2(上限20万円)までを補助

総務課 (88-11116)

住宅の耐震工事に関する補助金

木造住宅耐震診断促進事業補助金
専門家による診断・耐震補強プラン作成にかかる費用を補助

木造住宅耐震改修促進事業補助金
右記の耐震補強プランに基づく耐震改修を補助
補助金額▶耐震改修に要する費用の3分の2以内(上限60万円)
※詳しくは左記まで

建設課 (88-8107)

市独自の被災者救援活動のための

勝山市東日本大震災 救援寄附金

受付場所▶市役所(会計課・すこやか(福祉児童課、社会福祉協議会)



(社)勝山建設業会様から100万円の寄附をいただき、感謝状を贈呈しました。